

# 東の細道 in 清水杉谷町



A SPECIAL EDITION  
by Team ぶらひがし

清水杉谷町のおもしろい  
ネタをご紹介します。

今回は清水杉谷町！ **お清水(しょうず)がいっぱい**

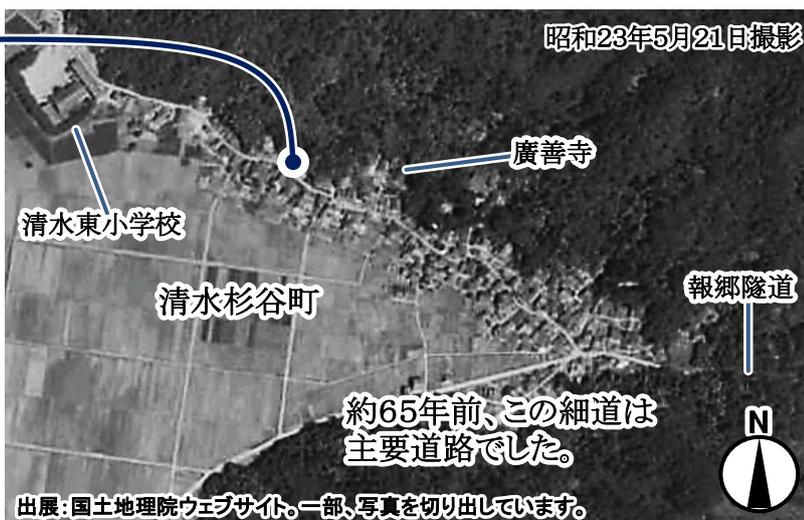
昭和23年5月21日撮影

涼しさを求めて…

このあたりの様子



清水東小学校より清水杉谷町内に入った中ほどより東に向かって撮影しています。



清水東小学校

清水杉谷町

廣善寺

報郷隧道

約65年前、この細道は  
主要道路でした。



出展: 国土地理院ウェブサイト。一部、写真を切り出しています。



※三昧(さんまい) 近く

西から

つるべ井戸がある!

集落(むら)近く

廣善寺近く

越前三方郵便局 近く

町内を貫くこの細道は、この地に人が住み始めてから変わらず在り続けました。辺りの家並みなどの風景はすっかり変わっているでしょうが、たたずまいは今も昔も変わりません。

※三昧(さんまい)とは火葬場の事です。 ※清水杉谷町の清水(しょうず)は、細道沿いだけではなく町内あちらこちらにあるそうです。

## 清水杉谷町のおいたち

杉谷(清水杉谷町)は、もと東の田尻(田尻栃谷町)側の南、桂連山麓(けれんさんろく)に在ったと伝えられています。今も屋敷跡や社寺跡が残っています。大昔はこの辺一帯は湖沼のような低湿地で地名に「南沖」「南浦」「船積場」などの名が残っています。



地形図の出展: 国土地理院ウェブサイト

この桂連山麓の元杉谷村は、後に現在地へ移り、氏神様は桂連山頂へ移し、もと神社境内跡には石塔を建て、観音像が安置してあり、「元文四未年九月吉日建之」と書かれてあります。昔はこの付近に大杉が生い茂っていたので、「杉谷」の地名がおこったとの言い伝えがあります。

また桂連山麓から片山(片山町)の新光寺(片山町の一部)にかけての地名に「門前」「釈迦畔(しゃかごろ)」「鐘搗島(かねつきしま)」「堂島」などの名が残っています。これは、廣善寺が、「小谷山薬王寺広善院」と呼んでいた頃、この辺一帯に七堂伽藍(がらん)が、並んでいたその名残であると伝えられています。

記事引用: 清水町のむかしばなし

※ 赤い破線はおおよその場所です。目安として考えてください。  
※ 「門前」の場所の記録が不明ですが、「鐘搗島」や「釈迦畔」の近くと思われます。

・ Team ぶらひがしとは、清水東公民館の広報部を中心とした有志の集まりです。日々、地区内のおもしろいネタを探しつつぶらついていきます。

# 東の細道 in 清水杉谷町 その2 田尻坂と報郷隧道

杉谷(清水杉谷町)から福井へ通じる難所、田尻坂(杉岡惣兵衛さん横の道)がありました。急な坂道で糸生(越前町の糸生地区)の大谷寺方面の木炭は、牛の背に振り分け三・四俵ずつ積んでガラガラと鈴の音を鳴らし、馬子唄を唄いながら毎日この田尻坂越えて福井へ通いました。また杉谷、三留(三留町)ではさかんに菅笠(すげがさ)が造られ、春先になると、大阪方面へ送り出されました。菅笠を積んだ荷車はこの坂がなかなか越せないで、夜明け前になると、家族が総出で、車の後をおし、先き引きを手伝ったと聞いています。

大正の始めごろは、西田中(越前町)・福井間の郡道は、島寺(島寺町)から片山(片山町)一桁谷(田尻桁谷町)一朝宮(朝宮町)を通して福井に通じていました。

地元の人達は杉谷を通るよう県当局に陳情を重ねていました。しかし杉谷と田尻(田尻桁谷町)の間には急な田尻坂があり、これを掘さくして隧道(ずいどう:トンネルのこと)を作らない限り郡道にすることはむずかしい。その為には多額の工事費の地元負担金を出さねばならず、村ではそのお金の目途がたたず、困っていました。

ところが、嘉永三年、杉谷の勝木勘右エ門の五男として生れた大久保権蔵さんが、後、東京に出て金物商を営み、努力を重ねてたくさんのお金を持つようになりました。この大久保権蔵さんが、たまたま福井へもどって来られた時、この話を聞いて故郷へ恩がえしはこの時と、当時のお金で一万円の寄付の申し出がありました。このお金を基に隧道工事は始まりました。

村人の願いがかなえられ、最後のハツパを仕掛けて、岩石が破られ、初めて二尺ばかりの穴があき、日の光とともに田尻の民家が見えた時は、区民一同おおよろこびで、代わる代わる穴のぞきに行ったとのことです。

やがて、村人の待望の隧道が、大正十五年五月完成し、大久保さんの郷土に報いる尊い意志をくんで「報郷隧道(ほうきょうずいどう)」と名づけられました。

六月二十七日、県知事、郡長の来賓を迎え、盛大な落成式が挙行されました。

昭和三年、入口の南側に記念碑を建て、その芳志

大久保さんの碑

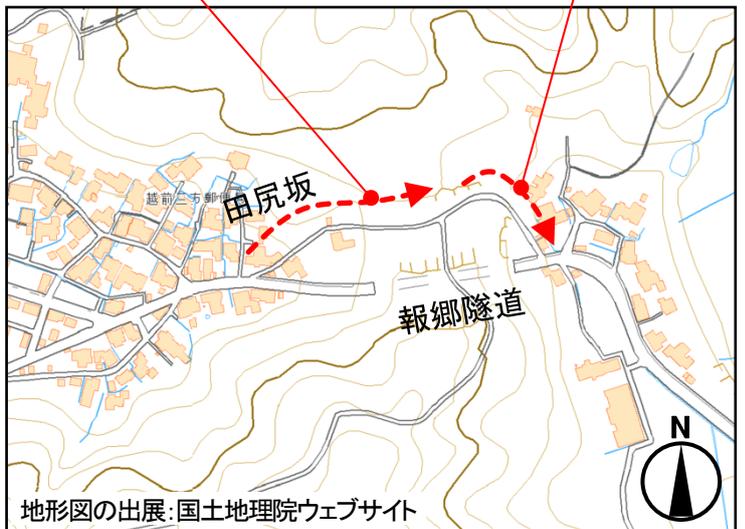


を後世に伝えています。

現在のトンネルは昭和四十三年、拡張工事が行なわれ、歩道、電灯もつけられて面目を一新しました。

記事引用:  
清水町の  
むかしばなし

報郷隧道の碑



地形図の出展: 国土地理院ウェブサイト



杉谷側からみた田尻坂への入口



杉谷側からみた報郷隧道と大久保権蔵さんを称える碑

碑文: 報郷隧道

「風氣之文野与産業之盛衰皆繫在交通運之便否古之賢人…」とあります。

どなたか要約していただけないでしょうか(苦笑)...